

群馬菱の実会だより

平成21年度菱の実会総会 会計報告

頭記について下記の通りご報告申し上げます。

1. 総会開催時及びその前後における会費納入状況

605,000円 (200名×3,000円+前年・前々年分納入)

＜ 会員総数 349名 (平成21年5月現在) ＞

※ 会費未納入の会員の方々には、追って事務局より振替用紙添付の上ご請求申し上げます。
宜しくご協力の程お願い致します。尚、既に会費を納入された方に前後の関係でご請求が重なる場合もございますが、ご容赦をお願い申し上げます。

2. 懇親会 会計報告

＜ 収入の部 ＞		＜ 支出の部 ＞	
会員参加者	58名	料理・飲み物一式 三菱電機ライフサービス(株)群馬支店	194,920円
会社幹部参加者様	10名	駐車場借用料	6,000円
組合関係参加者様	5名	合計 73名	タクシー代
収入 合計	219,000円	支出 合計	206,925円

収入支出差引残額 12,075円

(差引残額については懇親会参加者様からのご好意として、菱の実会々費に充当いたしたく、
宜しくご了承・ご理解をお願い申し上げます。) 以上

総会時の記念写真、スナップ写真を、菱の実会ホームページの「菱の実会特設ギャラリー」に掲載しています。次をクリックしてご覧ください。
<http://www18.ocn.ne.jp/~hishimig/gal.htm>

シリーズ・馬電の思い出

⑨ 三菱電機ホーム機器(株)の発足と最寄商品の機種移管

昭和59年10月、クリーナ、レンジ、ジャー炊飯器など最寄商品群の開発設計、営業、経理、資材、サービス部門を分離し、製造母体であった(株)菱電埼玉製作所を吸収合併して三菱電機ホーム機器(株)を発足させ、段階的に機種移管をしていった。

馬電は、家庭電化製品を中心とした場所から、ホームエレクトロ機器を核とした電子商品場所へ大きな構造改革の再構築を図ることとなった。

CDプレーヤー、光ピックアップ、業務用パソコン「マルチ16」の事業移管を受けると共に、MSXホームパソコン、家庭用電話機、静止画テレビ電話、ホームセキュリティー、PHS携帯電話、おしゃべり積み木、ハンディーシャワー … など独自の商品も巾広く手がけていった。

しかしこれらの商品は、技術革新と急激なコストダウンの波に飲み込まれ、その後他場所に移ったり、消えていったりした。馬電の一番苦しいときだったかも知れない。

一方で三菱電機ホーム機器は、三菱電機という大きな組織から離れ、経営にこまわりがきいたことと、共通費負担が減ったことなどから量販店との商談を優位に進め、大きく発展していく。

当時、最寄商品群は大きな赤字をかかえ、存続の議論が繰り返されていた。もし事業移管がなかったら、消えていたかも知れない。三菱電機ホーム機器でよみがえった。

当時の馬電メンバーの多くは、商品と一緒に三菱電機ホーム機器に移った。

【 新入会員紹介 】

柿沼 武則 (平成21年4月入会) 太田市宝町



ご無沙汰しております。
10年ぶりに馬電には「菱の実」会で戻ってくるようになりました。
宜しくお願い致します。
しばらくの間は仕事を続けますが、同時に下記アイテムに付き、
今まで以上に時間を割いていきたいと思っております。

- ①国内外のゆかりの地を訪れる旅。過去の記憶を再確認。
- ②今まで撮りためた写真やビデオのデジタル化&永久保存版化。
- ③BS韓国ドラマを通じてのハンゲルの勉強。
- ④一年中花いっぱい、ハーブいっぱいのガーデニング。
- ⑤健康維持のための水泳&ウォーキング。

なお、写真は昨年5月、会社のゴールドプランでシドニーに行った時のものです。

【 会員投稿 】 謎のインカ帝国 : ペルー旅行記 大槻伸次

酸素がこんなに有り難いとは……

平成20年2月20日(水)から2月29日(金)までの10日間、南米のペルーに行ってきました。
ペルーといえば「謎の空中都市マチュピチュ」。今回の旅はそのマチュピチュをメインとして、首都リマ、
謎のナスカ地上絵、インカ帝国の首都クスコ、汽船が航行する湖で世界最高地点に位置するプーノの
チチカカ湖、スペインのアンダルシア地方の文化を色濃く残す町アレキパを巡る旅でした。

<1日目>

成田を発ち、米国アトランタを経由しペルーの首都リマへ。アトランタまで約12時間20分(帰りはジェ
ット気流の関係で14時間30分)。アトランタからリマまでが6時間36分。乗り継ぎ時間を入れると凡そ
22時間余の空の旅でした。地球儀を見てみたら日本の裏側、隣国は日本からの移民で馴染み深い
ブラジルです。

米国では9.11事件以降、乗り継ぎ客も全て、両手の人差し指の指紋押捺、眼球撮影などの入出国審
査の大幅強化、さらに手荷物検査の液体持ち込みは制限され、靴まで脱いでX線検査を行うという徹
底ぶりです。

リマに到着したのは深夜、市内のホテル着は翌日でした。日本とペルーの時差はマイナス14時間、
当然ながらこの時差にも悩まされました。

ペルーは南半球にあるため季節は夏、日本の6月頃の気候です。地図上では熱帯圏ですが、世界の
気候の80%があるといわれ、地域によって気候が全く異なる。

<2日目>

ペルーでの最初の観光はクスコへ飛行機で移動し、市内観光の予定でしたが突然フライト中止とな
る。というのは搭乗直前に、クスコのベラスコ・アステテ空港が農民デモにより閉鎖されたためです。そ
こで、この日のクスコ行きは断念する。

急遽旅程が組み替えられ、本日が7日目の予定の、リマ市内観光と地上絵のナスカへの移動とな
る。明日が、8日目の予定だったセスナ機によるナスカ地上絵遊覧とリマ帰着に変更になる。

ところが思いも抛らぬハプニングに、時間を無駄してしまったのでリマ市内観光は「黄金博物館」のみと
なってしまった。

リマは770万人の大都市。リマのある太平洋に面する海岸沿いはコスタと呼ばれる海岸砂漠地域で、
年間を通してほとんど雨が降らないそうです。街並みはスペイン風で、市中心部には広場や立派な教
会が建てられている。

今月の四字熟語
・
・
「虚心坦懐」(きよしんたんかい)

心にわだかまりをもたず、素直でさっぱりとした気持ち。平静な心境。

「虚心」は無心。「坦」は平ら。

今月のことわざ・【腹も身の内】(はらもみのうち) おなかも身(からだ)の一部なのだから、むちやな飲み食いはしないで大切にしよう。

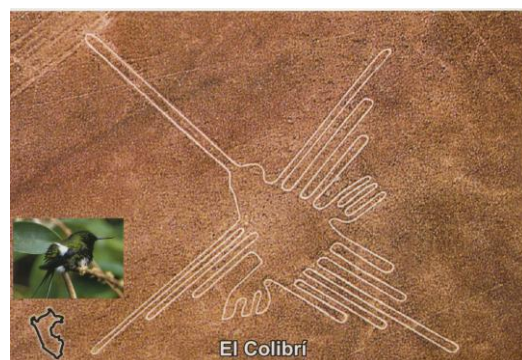
黄金博物館へは、街の中心部は混雑するので郊外を通って行くと、丘の斜面はバラックがビッシリと建っている。「プエブロホーヴェン」といわれ、不法侵入で住み着いてしまった人達の住宅です。アンデスから仕事を求めて、大都市リマに来て仕事が無く、住み着いてしまったという。年間降雨量が50ミリのリマだから可能なのだろう。

昼食後、南北アメリカ縦断道路(パンアメリカンハイウェイ)を南下し地上絵のナスカへ。砂漠の中を、約450キロ7時間の移動でした。

黄金博物館へは、街の中心部は混雑するので郊外を通って行くと、丘の斜面はバラックがビッシリと建っている。「プエブロホーヴェン」といわれ、不法侵入で住み着いてしまった人達の住宅です。アンデスから仕事を求めて、大都市リマに来て仕事が無く、住み着いてしまったという。年間降雨量が50ミリのリマだから可能なのだろう。昼食後、南北アメリカ縦断道路(パンアメリカンハイウェイ)を南下し地上絵のナスカへ。砂漠の中を、約450キロ7時間の移動でした。

<3日目>

快晴(年間通して雨は降らない)。早起きして太陽が上がる前の涼しい時間帯にナスカの地上絵を空から見学です。セスナ機は、砂漠の中の小さな飛行場を離陸し、砂漠を眼下に望みながら、数分で地上絵の地点に到着です。左右の座席に座っている人のために一つの絵の上空を8の字に旋回して見せてくれます。そのとき機体を45度位傾かせ右に傾いたら次は左という具合。これを主要な絵10箇所程度繰り返す。



【写真は、地上絵の蜂鳥】

地上絵は、誰がどのようにして、何のために描いたのかについて諸説あるが、一番有力は暦と雨乞いの儀式説という。

謎の地上絵に酔いしれていると、あっという間に約30分の遊覧飛行が終る。

セスナ機に搭乗前する前、ジェットコースターに乗ったみたいで酔っ払うといわれたが幸いその気配は無かった。多分、早朝のフライトだったので気温が涼しかったのが幸いしたようだ。

昼食後、リマへの帰途ミラドル(展望台)に立ち寄り、もう一度直近から地上絵を確認した。

< つづく >

第55回春季グラウンドゴルフ大会



順位	氏名	HD	スコア	1打	2打
優勝	高橋勝美	+2	61	2	7
準優勝	長嶺美恵子		65	0	10
3位	滝 亀三郎		66	0	11
4位	井上征光		66	0	9
5位	根岸利喜蔵		66	0	8
6位	茂木さと枝		67	1	7
7位	長嶺 元		67	0	9
8位	本島シゲ乃	+1	69	0	11
9位	茂木 鶴次	+3	70	0	9
10位	田部井秀夫	+2	70	0	8

平成21年度最初の春季グラウンドゴルフ大会が 5月18日(月)利根グラウンドゴルフ場で18人の参加で行われました。今回は、ハンディー制で、赤城コース、榛名コース、赤城コースの24ホールで熱戦がくりひろげられました。結果は、高橋勝美さんが優勝カップを手に入れました。

尚、次回の第56回夏季大会は、1泊2日で8月24日(月)～25日(火)に榛名吾妻荘で開催しますので、皆様の参加をお待ちしております。(会費は 11,000円、参加申込み受付中)

